

計画と目標

①本邦における小児・AYA世代がん患者の生殖機能に関するがん・生殖医療連携体制の拡充と機能維持に向けた研究（古井、高井）

②本邦における小児・思春期世代がん患者に対する妊孕性温存の診療の実態調査と小児がん診療拠点病院におけるがん・生殖医療の均てん化に向けた研究（松本、池田、鈴木）

③本邦におけるがん・生殖医療のアウトカムの検証とエビデンスの構築に向けた研究（大須賀、鈴木、高江）

④本邦におけるがんサバイバーの周産期予後等の実態調査とプレコンセプションケア確立に向けた研究（杉山、太田）

令和元年度

既存ネットワーク活動性に関する実態調査と結果の解析
未整備地域実態とニーズの把握地域特性に合わせた体制整備の議論

Oncofertility Japan：課題や情報の共有システムの検討と確立

小児・思春期世代がん患者に対する妊孕性温存療法の医療連携体制を評価
全国の小児がん拠点病院に対する実態調査

全国の小児がん拠点病院における啓発活動（キャンサーパネル）

小児がん拠点病院向けの資料

妊孕性温存療法のエビデンスの検証

JOFRならびに厚労科研大須賀班と連携

妊娠・出産・育児に関する多面的な実態調査と解析

ハイリスク妊娠のリスク因子の同定や心理・社会・経済的サポート体制の議論と検討

生殖・周産期医療体制の連携基盤、心理・社会的・経済的サポート体制の確立と臨床応用

✓ がん・生殖医療連携ネットワークの全国展開と小児・AYA世代がん患者に対する妊孕性温存の診療体制の均てん化—がん医療の充実を志向して

Oncofertility Consortium Japan (OC_jpn)

既存ネットワークの実態のモニタリング体制(2年目)→

① 意思決定支援施設の認定システム構築(3年目)

- ・ 定期カンファレンス開催による情報共有
 - ・ Web活用によるネットワーク間の資材や課題点などの共有システムの構築
- ③ ネットワークの維持と拡充の支援(3年目)

既存ネットワークの
現状把握
活動指標の最適化

未整備地域代表者との課題の共有
→広域ネットワークも考慮に入れた

② 全国で意思決定支援体制の完成(3年目)

令和元-2年度

1、2年目
既存ネットワーク
活動性に関する
実態調査と結果の解
析

令和元-2年度

1年目中に全未整備地域でKick off

1、2年目
未整備地域
実態とニーズの把握
地域特性に合わせた
体制整備の議論

令和2-3年度

2、3年目
OC_jpn
課題や情報の共有シ
ステムの検討と確立